

令和3年度 第9回ひと咲きまち咲きあまがさき推進会議

日時：令和4年3月15日（月） 10：00～10：40

開催手法：WEB会議

1. 開会

座長： 主要取組項目について、前回の会議後に意見照会を行い、各局から回答をいただきブラッシュアップをしたので、共有し、意見をいただきたい。

2. 第6次尼崎市総合計画（案）について

事務局より資料に基づいて説明

座長： 細かい文言の修正やより分かりやすい表現について、現在確認中であり、各局からも意見があれば伺いたい。

委員： 「施策8 健康支援」の展開方向②-③の「望まない受動喫煙」という表現に違和感がある。

委員： 厚生労働省が「望まない受動喫煙」という表現を使っているため、それに合わせている。

座長： 「望まない」は記載せず、「受動喫煙の防止」としても良いのではないか。

委員： ここで記載したいことを考えると修正は可能である。

委員： 主要取組項目①「子ども・教育」の「子どもを持つ人や・持ちたい人」という表現になっているが、子どもは権利の主体なので、親が子どもを「持つ、持たない」という表現は前時代的ではないか。

座長： この修正の意図は、不妊治療を受けておられる方など、妊娠前の方も対象であるということを記載したものであるが、表現については検討したい。

座長： パブコメ結果のNO.11の児童虐待の一時保護に関するご意見への、本市の考え方について、兵庫県が適切に取り組んでいる旨を記載しているが、一時保護所の不足や保護所が遠方であることからケアが行い辛いといった課題があることは事実であり、その改善も意図するなかで本市に児童相談所を設置していくこととしているため、そのように表現してはどうか。

委員： 総合指標、主要取組項目の指標の目標値の考え方については問題ないと考えているが、主要取組項目②の記載について進捗感がないため、街頭犯罪が減少していることを踏まえ、「減少している街頭犯罪に対して引き続き戦略的な取組を行う」といった記載にできないか。また、主要取組項目④の「まちの実態とイメージのギャップ」について市がどのように認識しているかを記載しても良いのではないか。例えば、環境や治安や教育など。施策9「生活安全」の「刑法犯認知件数」のグラフからも街頭犯罪が減少しているという事実は言えると考えている。

また、施策10「消防・防災」の展開方向(2)－①について、危機事象の記載があるが、ここからコロナ対策を想起するのは難しいのではないか。

座長： 「まちの実態とイメージのギャップ」について、環境、治安、教育は向上が図られているもののイメージとギャップがある。また、マナーについては課題が残っているといったことを表現できるように考えたい。

また、施策10「消防・防災」の展開方向の記載については、「パンデミック」という表現を記載することも検討したい。

各局の個別計画があると思うが、個別計画と総合計画のリンクを強め、施策評価を通じて個別計画のPDCAサイクルも回るといった、施策の一体性や作業の効率化を図ろうとしてきた。それを踏まえて展開方向の立て方等については改めて確認をしておいてほしい。

以 上